



平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月13日

上場会社名 株式会社小田原機器 上場取引所 東
 コード番号 7314 URL http://www.odawarakiki.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 入山 圭司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長兼総務部長 (氏名) 平野 光利 TEL 0465-23-0121
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|--------------|-------|-------|------|------|------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年12月期第3四半期 | 2,403 | 8.2 | △455 | — | △436 | — | △109 | — |
| 28年12月期第3四半期 | 2,221 | △26.7 | 130 | 21.9 | 152 | 33.9 | 101 | 36.1 |

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 3百万円 (△97.3%) 28年12月期第3四半期 141百万円 (103.5%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|--------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年12月期第3四半期 | △35.52 | — |
| 28年12月期第3四半期 | 32.89 | — |

※当社は、平成28年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 29年12月期第3四半期 | 5,987 | 4,870 | 81.3 | 1,582.26 |
| 28年12月期 | 6,419 | 4,913 | 76.5 | 1,596.00 |

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 4,870百万円 28年12月期 4,913百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年12月期 | — | 0.00 | — | 15.00 | 15.00 |
| 29年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 29年12月期（予想） | — | — | — | 15.00 | 15.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-------|------|---|------|---|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 3,098 | △11.9 | △534 | — | △514 | — | △34 | — | △11.22 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（平成29年11月13日）に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-----------|------------|-----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 29年12月期3Q | 3,079,200株 | 28年12月期 | 3,079,200株 |
| ② 期末自己株式数 | 29年12月期3Q | 836株 | 28年12月期 | 836株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 29年12月期3Q | 3,078,364株 | 28年12月期3Q | 3,078,364株 |

(注) 当社は、平成28年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資動向及び雇用・所得情勢は堅調に推移している一方で、米国の新任大統領政権による政策運営の不透明感が顕在化しつつあるほか、中東情勢及び米朝関係等の地政学リスクが懸念材料として存在し、先行きが不透明な状況であります。

当社グループ製品の主要市場である路線バス業界においては、当期は運賃収受システムの更新需要の端境期に当たるものの、多言語表示に対応した「液晶運賃表示器」や「バスロケーションシステム」等、路線バスの利便性を向上させるためのシステムの導入需要が継続しております。

このような状況のもとで当社グループは、運賃収受システムの更新案件の取り込みに加え、「液晶運賃表示器」等の「バス統合管理モジュール」製品・商品の拡販を進めました。また、将来の「バス車載機器のオンライン化」(注)システム化の布石として、「バスロケーションシステム」関連商品の拡販を進めました。

なお、今期においては「将来の機器更新需要を見据え、『次世代型ICカード機器』等の研究開発に経営資源を集中投入していく」ことを当社グループの取組みの柱としております。当第3四半期連結累計期間においては、研究開発費を416,947千円（前年同四半期比308.1%増）計上いたしました。その結果、売上高は前年同四半期を上回りましたが、各段階利益は前年同四半期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,403,862千円（前年同四半期比8.2%増）、営業損失は455,476千円（前年同四半期は130,558千円の営業利益）、経常損失は436,613千円（前年同四半期は152,759千円の経常利益）となり、投資有価証券売却益275,270千円を特別利益に計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は109,328千円（前年同四半期は101,242千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

(注) バス車載機器のオンライン化：モバイル通信を用いてバス車載機器とバス営業所の間においてリアルタイム通信環境を構築し、各種データの相互配信及び収集したデータの分析・活用並びにバスロケーションシステムに対応した位置情報の配信並びに非常時の状況確認等を可能にするシステム化のことであります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて913,539千円減少し、3,654,942千円となりました。これは主に、現金及び預金が178,273千円増加したものの、受取手形及び売掛金が910,428千円、有価証券が190,255千円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて481,923千円増加し、2,332,597千円となりました。これは主に、投資有価証券が373,865千円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて414,249千円減少し、760,292千円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が406,494千円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて24,922千円増加し、356,461千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて42,288千円減少し、4,870,785千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失109,328千円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

昨今の事業環境及び最近の業績動向等を踏まえ、平成29年12月期（平成29年1月1日から平成29年12月31日まで）の業績予想について平成29年11月13日に修正発表しております。詳細については、平成29年11月13日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成28年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,696,085 | 1,874,359 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,292,612 | 382,184 |
| 有価証券 | 740,241 | 549,986 |
| 商品及び製品 | 22,777 | 1,562 |
| 仕掛品 | 455,450 | 310,726 |
| 原材料 | 256,557 | 212,464 |
| 繰延税金資産 | 66,425 | 53,406 |
| その他 | 48,731 | 273,351 |
| 貸倒引当金 | △10,400 | △3,100 |
| 流動資産合計 | 4,568,481 | 3,654,942 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 140,033 | 134,496 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 125 | 32,482 |
| 土地 | 231,236 | 218,236 |
| その他（純額） | 49,650 | 74,682 |
| 有形固定資産合計 | 421,045 | 459,898 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | — | 51,312 |
| その他 | 55,512 | 45,908 |
| 無形固定資産合計 | 55,512 | 97,221 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,214,399 | 1,588,264 |
| 繰延税金資産 | 14,800 | 32,276 |
| その他 | 168,815 | 178,836 |
| 貸倒引当金 | △23,900 | △23,900 |
| 投資その他の資産合計 | 1,374,115 | 1,775,477 |
| 固定資産合計 | 1,850,673 | 2,332,597 |
| 資産合計 | 6,419,155 | 5,987,539 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成28年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 724,115 | 317,620 |
| 短期借入金 | 120,000 | 120,000 |
| 未払法人税等 | 85,006 | — |
| 賞与引当金 | 22,318 | 52,291 |
| 製品保証引当金 | 53,019 | 50,925 |
| 受注損失引当金 | 26,959 | 17,119 |
| その他 | 143,123 | 202,336 |
| 流動負債合計 | 1,174,542 | 760,292 |
| 固定負債 | | |
| 役員退職慰労引当金 | 135,289 | 141,281 |
| 退職給付に係る負債 | 196,249 | 212,781 |
| 資産除去債務 | — | 2,398 |
| 固定負債合計 | 331,539 | 356,461 |
| 負債合計 | 1,506,081 | 1,116,754 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 319,250 | 319,250 |
| 資本剰余金 | 299,250 | 299,250 |
| 利益剰余金 | 4,198,629 | 4,043,125 |
| 自己株式 | △397 | △397 |
| 株主資本合計 | 4,816,732 | 4,661,228 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 96,341 | 209,556 |
| その他の包括利益累計額合計 | 96,341 | 209,556 |
| 純資産合計 | 4,913,073 | 4,870,785 |
| 負債純資産合計 | 6,419,155 | 5,987,539 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 2,221,040 | 2,403,862 |
| 売上原価 | 1,490,740 | 1,852,401 |
| 売上総利益 | 730,299 | 551,460 |
| 販売費及び一般管理費 | 599,741 | 1,006,937 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 130,558 | △455,476 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4,081 | 3,915 |
| 受取配当金 | 4,388 | 6,517 |
| 受取保険料 | 268 | — |
| 貸倒引当金戻入額 | 12,000 | 7,300 |
| その他 | 3,073 | 1,909 |
| 営業外収益合計 | 23,811 | 19,642 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 885 | 770 |
| その他 | 724 | 7 |
| 営業外費用合計 | 1,610 | 778 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 152,759 | △436,613 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 3,685 |
| 投資有価証券売却益 | 398 | 275,270 |
| 特別利益合計 | 398 | 278,955 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 0 | 282 |
| 投資有価証券評価損 | 2,687 | — |
| 特別損失合計 | 2,687 | 282 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△) | 150,471 | △157,940 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 85,718 | 1,456 |
| 法人税等調整額 | △36,489 | △50,068 |
| 法人税等合計 | 49,228 | △48,612 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 101,242 | △109,328 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△) | 101,242 | △109,328 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第3四半期連結累計期間 （自平成28年1月1日 至平成28年9月30日） | 当第3四半期連結累計期間 （自平成29年1月1日 至平成29年9月30日） |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失（△） | 101,242 | △109,328 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 40,272 | 113,215 |
| その他の包括利益合計 | 40,272 | 113,215 |
| 四半期包括利益 | 141,515 | 3,886 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 141,515 | 3,886 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(重要な後発事象)

(株式取得による子会社化)

当社は、平成29年10月12日開催の取締役会において、ソタシステム株式会社の株式を取得し、子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

(1) 子会社化の概要

① 子会社化の主な理由

ソタシステム株式会社にて長年蓄積されたソフトウェア開発に係る技術力、開発力及びノウハウを当社に統合することにより、当社はソフトウェア開発の効率化及び開発ノウハウの伝承が可能となり、その結果、バス機器市場以外への新たな事業展開の足掛かりを含め、新たな付加価値及びシナジーが創造されるものと見込んでおります。

② 株式取得の相手方

ソタシステム株式会社の個人株主（5名）

③ 相手企業の名称及びその事業の内容

相手企業の名称 : ソタシステム株式会社

事業の内容 : システム開発、エンジニアリング、ソフトウェア設計、システム及び機器の輸出入販売
規模 : 平成29年4月期 資本金30百万円

④ 株式取得の時期

平成29年11月30日（予定）

⑤ 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

553株（92.2%）

なお、取得価額につきましては、株式譲渡契約の定めにより秘密保持義務があることから非開示とさせていただきます。